

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年1~2回の避難訓練、避難経路の確認をしているが、夜間を想定した訓練や災害時の備蓄は行っていない。	1) 災害を想定した訓練が年1回行え、職員への避難救助プロセスの周知を図る。 2) 災害時の備蓄ができる。	1) 訓練時の実施時期を年間計画に入れ、避難経路の確認ができる。 2) 夜間の火災・災害におけるマニュアルの体制づくり。 3) 備蓄を行う。	12ヶ月
2	33	緊急時の方針は重要説明事項説明書の中に明記され、本人・家族への説明は行っているが、全職員への徹底はされてない。重度化が予測される段階での方針の共有が行えていない。	全職員で方針の共有することができる。	定期的なカンファレンスの中で方針を共有していくようにする。	12ヶ月
3	10	家族会の設置や家族の意見等を運営に反映させる取り組みができていない。	家族会を設置する。	家族会を立ち上げるにあたり、行事に家族参加を促し、話し合いを行う。	12ヶ月
4	6	身体拘束をしないケアの大切さについて、職員共通の理解が不十分である。	1)全職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解できる。 2)身体拘束をしないケアに取り組むことができる。	1)職員全体での「身体拘束をしないケアの実践」の研修(外部講師による)を年1回行う。 2)ケア会議の際、身体拘束についてもふれていき、職員の意識を高めていくようにする。	12ヶ月
5	36	必要な研修が受けられるようになる。	1)県介護研修センターからの研修案内については見落とすことの無いよう該当者に紹介し勤務として受講できるよう勤務表に取り組む。	1)研修の年間計画を立てる。 2)職員からの要望も聞き、出来るだけ配慮する。 3)研修結果、内容はレポートを提出させ、それを他の職員に回覧、もしくは事業所内研修を行い、介護力の向上に繋げる。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。